

2027年3月期第1四半期 決算補足資料

2026年8月7日



連結決算概要	… P. 3
品目別連結売上高の増減要因	… P. 4
業界別連結売上高の増減要因	… P. 5
バランスシート（連結）	… P. 6
連結業績推移	… P. 7

連結決算概要



(単位：百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	前年 同四半期比	2027年3月期 業績見通し
売上高	9,565	10,412	+ 846	+ 8.8%	48,500
営業利益	423	575	+ 151	+ 35.8%	2,660
経常利益	449	617	+ 168	+ 37.5%	2,720
親会社株主に帰属する 四半期純利益	296	408	+ 112	+ 37.8%	1,850

決算の概況

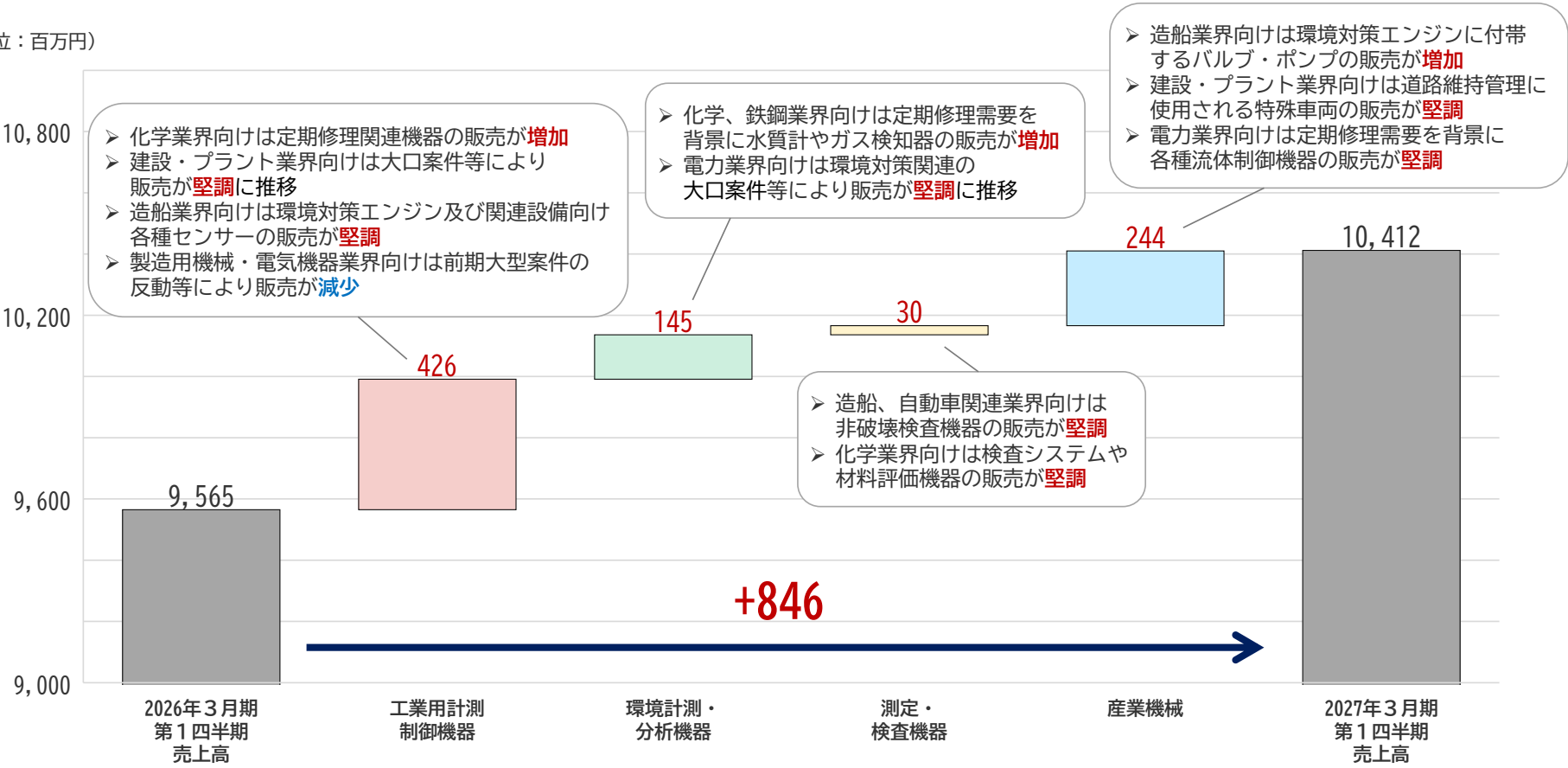
- 製造用機械・電気機器業界においては、前連結会計年度に計上した大型案件の反動に加え、一部顧客における在庫調整の影響もあり、販売は減少しました。一方、中東情勢の緊迫化に伴う副資材の調達を巡るサプライチェーンへの影響が懸念されましたが、当第1四半期連結累計期間においては大きな混乱なく商品の調達を行うことができました。
- 前連結会計年度からの受注残が着実に売上へ転化されるとともに、造船業界向けでは新造船建造需要を背景として販売が増加しました。老朽化設備更新需要や大口案件の売上計上により販売が伸長した他、道路維持管理など社会インフラの維持に使用される特殊車両の販売も堅調に推移しました。
- 利益面では、ソリューション提案営業の推進により収益性が向上したことに加え、販売費及び一般管理費が想定を下回って推移しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております

品目別連結売上高の増減要因



(単位：百万円)



業界別連結売上高の増減要因



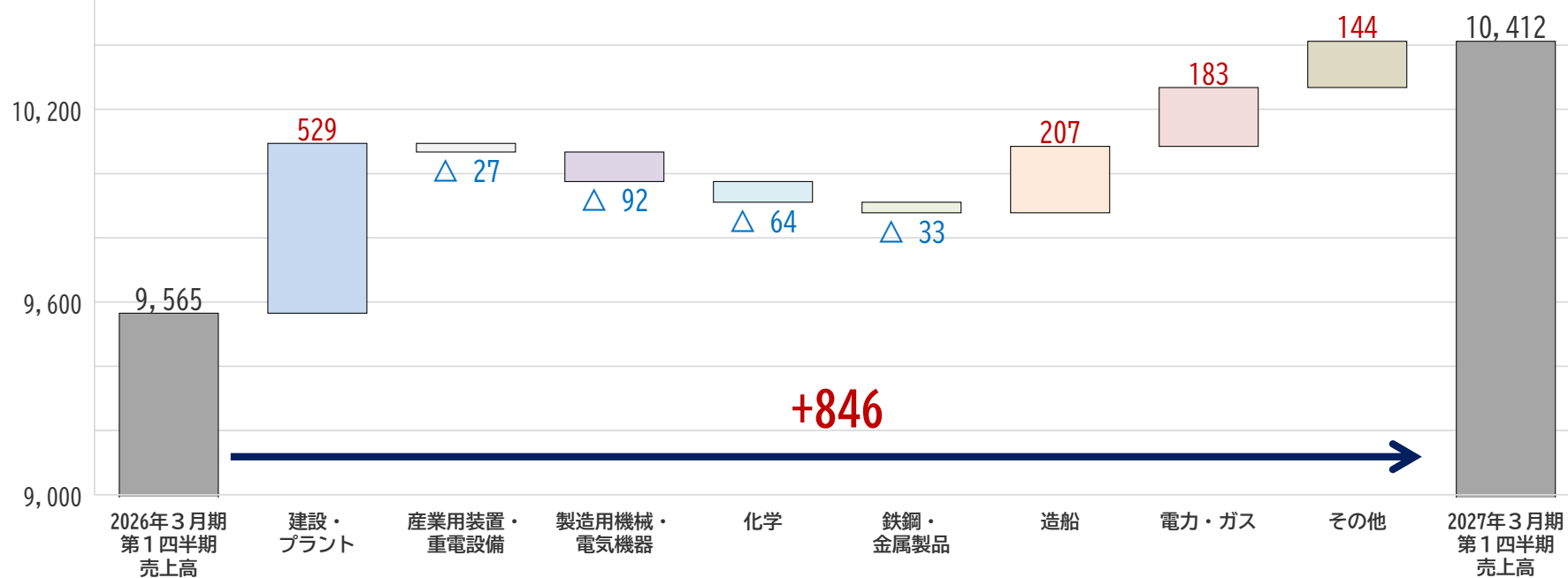
(単位：百万円)

主な増加要因

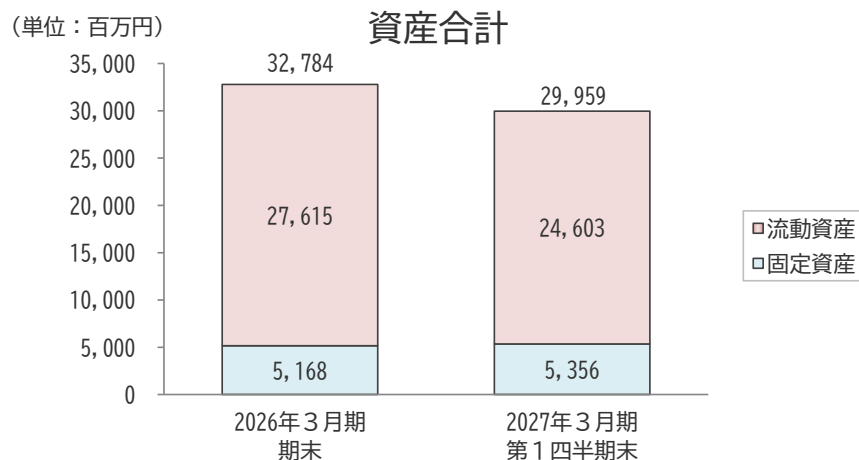
- 建設・プラント業界：道路維持管理に使用される特殊車両の販売が堅調に推移し、売上が**増加**
- 造船業界：環境対策エンジンに付帯するバルブ・ポンプや各種センサーの販売が増加し、売上が**伸長**
- 電力業界：環境対策関連の大口案件や老朽化設備更新需要を取込み、販売が**増加**

主な減少要因

- 製造用機械・電気機器業界：前期大型案件の反動及び一部顧客の在庫調整により、販売が**減少**



バランスシート（連結）



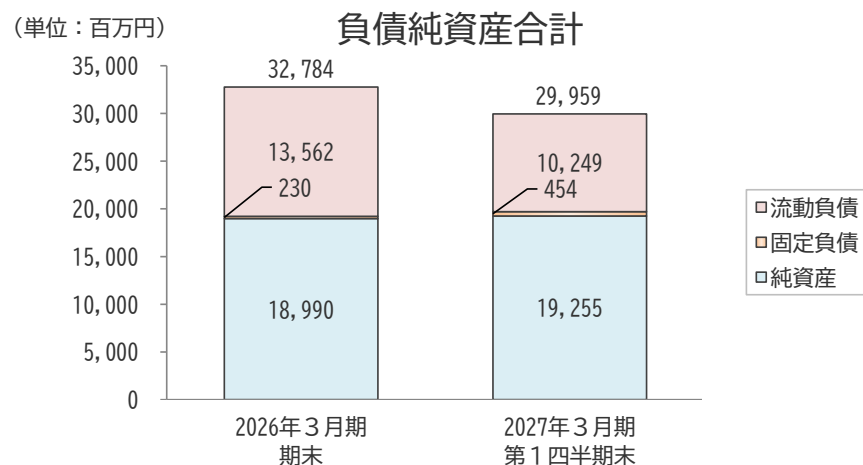
2027年3月期第1四半期 ハイライト（カッコ内は増減額）

資産

【増減の主な要因】

(単位：百万円)

- 受取手形、売掛金及び契約資産：12,350（△3,090）
売上債権の回収が進んだことにより減少しました



自己資本比率：64.3%（2026/03時点 57.9%）

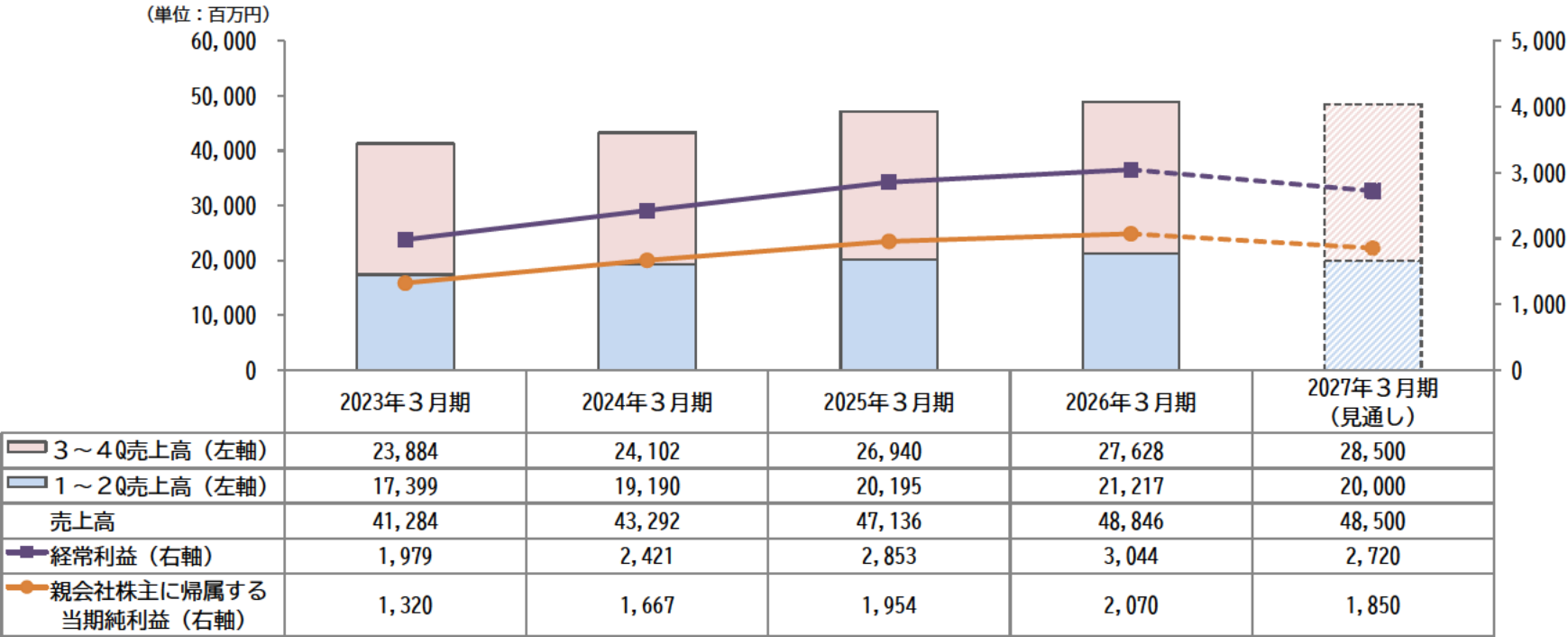
負債・純資産

【増減の主な要因】

(単位：百万円)

- 支払手形及び買掛金：4,437（△2,299）
仕入債務の支払が進んだことにより減少しました
- 純資産：19,255（+265）
配当金の支払（△354）により減少、四半期純利益（+408）、
その他有価証券評価差額金（+218）等により増加しました

連結業績推移



	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
ROE (自己資本利益率)	9.9%	11.2%	11.9%	11.5%	中長期目標 11%以上

(中長期的にROE11%以上目指す収益性水準)

本資料に関するお問い合わせ先



経営戦略部

TEL：06-6539-4816

■ お問い合わせはこちらから

<https://www.eiwa-net.co.jp/contact/inquiry/>

■ 当社ウェブサイト

<https://www.eiwa-net.co.jp>



(注) 本資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競争状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、本資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。